

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月9日

上場会社名 株式会社博報堂DYホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2433 URL <http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水島 正幸  
 問合せ先責任者(役職名) IRグループマネージャー (氏名) 吉野 敦 (TEL) 03(6441)9033  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	195,636	13.5	11,458	△5.2	13,870	4.7	4,582	△26.5
2022年3月期第1四半期	172,378	22.3	12,087	—	13,251	759.1	6,238	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 903百万円(△94.6%) 2022年3月期第1四半期 16,633百万円(97.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	12.26	12.26
2022年3月期第1四半期	16.70	16.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	936,553	382,263	37.7
2022年3月期	1,053,016	387,414	34.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 353,195百万円 2022年3月期 357,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	940,000	5.0	51,000	△28.8	53,000	△30.0	26,000	△52.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	389,559,436株	2022年3月期	389,559,436株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	15,905,408株	2022年3月期	15,905,408株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	373,654,028株	2022年3月期1Q	373,492,357株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。四半期決算補足説明資料は当社ホームページ(<http://www.hakuhodody-holdings.co.jp/>)に掲載しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年6月30日、以下「当第1四半期」)における日本経済は、中国の都市封鎖に伴うサプライチェーンの停滞や資源価格の高騰、株安など景気下押しの要素が多く見られたものの、行動制限が解除されサービス需要を中心に個人消費が上向いたこともあり、全体としては回復基調となりました。国内広告市場(注1)についても、4月、5月の2ヵ月連続で前年同期比プラスでのスタートとなるなど、前年度から引き続き、回復傾向が継続しております。

このような環境下、当社グループは、コロナ禍への対応に配慮しつつも、2024年3月期を最終年度とする中期経営計画に則り、積極的な事業展開を継続してまいりました。この結果、売上高(注2)は3,491億6百万円(前年同期比6.8%の増収)、収益は1,956億36百万円(同13.5%の増収)と前年同期を上回りました。

当第1四半期の売上高を種目別に見ますと、新聞、雑誌、ラジオ、テレビと4マスでは前年同期を下回りました。一方、マーケティング/プロモーションでは大型案件の貢献もあり大きく前年同期を上回り、インターネットメディアも前年同期を上回りました。

また、得意先業種別では、サプライチェーン停滞の影響が大きい「自動車・輸送機器・関連品」などで前年同期を下回りましたが、「官公庁・団体」、「飲料・嗜好品」及び「外食・各種サービス」で前年同期を大きく上回ったほか、21業種中、約半分の11業種が前年同期を上回りました。(注3)

売上総利益に関しても、844億20百万円(同7.9%増加)と前年同期より61億80百万円の増加となりました。なお、このうち国内事業については645億18百万円と4.9%の増益、海外事業については北米や中華圏における回復基調に加えて連結範囲の拡大もあり、212億44百万円と22.2%の増益となりました。販売費及び一般管理費において、中期的な成長を見据えた戦略費の投下や活動費の戻りによる費用の増加があった結果、営業利益は114億58百万円(同5.2%減少)、為替差益9億6百万円の発生等があった結果、経常利益は138億70百万円(同4.7%増加)となりました。

これに特別利益3億66百万円及び特別損失6億61百万円を加味した税金等調整前四半期純利益は135億74百万円(同1.1%増加)となりました。こうした状況に加えて、法人税等の税金負担額76億56百万円及び非支配株主に帰属する四半期純利益13億36百万円の影響が加味された結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億82百万円(同26.5%減少)となりました。

(注1) 「特定サービス産業動態統計調査」(経済産業省)によります。

(注2) 「売上高」は従前の会計基準に基づくものであり、財務諸表利用者にとって有用であると考えていることから、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等に準拠した開示ではないものの、自主的に開示しております。

(注3) 当社の社内管理上の区分と集計によります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の資産は、前連結会計年度末に比べ1,164億63百万円減少し、9,365億53百万円となりました。主な増減は、受取手形及び売掛金の減少1,362億57百万円、のれんの増加170億56百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,113億12百万円減少し、5,542億89百万円となりました。主な増減は、支払手形及び買掛金の減少444億13百万円、賞与引当金の減少446億85百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ51億50百万円減少し、3,822億63百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の減少69億11百万円、為替換算調整勘定の増加41億46百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は1,917億44百万円となり、前年同期より79億36百万円の増加(前連結会計年度末より110億47百万円の増加)となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益(135億74百万円)の計上、賞与引当金の減少(△446億76百万円)、売上債権の減少(1,425億73百万円)、仕入債務の減少(△499億77百万円)、法人税等の支払(△370億80百万円)等の結果、258億95百万円の収入(前年同期は52億32百万円の収入)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入(31億13百万円)、出資金の払込による支出(△23億86百万円)、投資有価証券の取得による支出(△14億68百万円)等があったため、31億4百万円の支出(前年同期は28億15百万円の支出)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少(△55億6百万円)、配当金の支払額(△57億90百万円)等があったため、144億15百万円の支出(前年同期は40億31百万円の収入)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点で、連結業績予想の見直しは行っておりません。

(注) 業績予想につきましては、当社が現時点で合理的と判断する一定の条件に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	183,983	195,335
受取手形及び売掛金	438,404	302,147
有価証券	28,537	21,236
金銭債権信託受益権	5,628	5,720
棚卸資産	46,203	58,053
短期貸付金	720	720
その他	52,129	43,582
貸倒引当金	△754	△710
流動資産合計	754,854	626,085
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,958	39,929
減価償却累計額	△18,996	△19,303
建物及び構築物（純額）	19,961	20,626
土地	9,684	9,684
その他	21,096	22,220
減価償却累計額	△13,618	△14,300
その他（純額）	7,477	7,920
有形固定資産合計	37,124	38,231
無形固定資産		
ソフトウェア	13,471	14,383
のれん	45,097	62,154
その他	13,747	13,971
無形固定資産合計	72,317	90,508
投資その他の資産		
投資有価証券	136,696	134,118
長期貸付金	674	704
退職給付に係る資産	9,383	9,502
繰延税金資産	9,893	4,401
その他	34,073	34,972
貸倒引当金	△2,000	△1,971
投資その他の資産合計	188,720	181,727
固定資産合計	298,162	310,467
資産合計	1,053,016	936,553

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	298,670	254,256
短期借入金	10,750	5,983
1年内返済予定の長期借入金	1,671	2,153
未払費用	20,790	21,557
未払法人税等	31,620	3,873
賞与引当金	54,094	9,409
役員賞与引当金	1,452	502
その他	86,588	100,231
流動負債合計	505,640	397,967
固定負債		
長期借入金	113,988	113,533
繰延税金負債	14,055	10,136
役員退職慰労引当金	537	496
退職給付に係る負債	14,947	14,854
事業整理損失引当金	175	173
その他	16,256	17,126
固定負債合計	159,961	156,321
負債合計	665,601	554,289
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,790	10,790
利益剰余金	319,758	317,863
自己株式	△11,372	△11,372
株主資本合計	319,176	317,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,418	32,507
繰延ヘッジ損益	1,561	1,505
為替換算調整勘定	256	4,402
退職給付に係る調整累計額	△2,558	△2,501
その他の包括利益累計額合計	38,678	35,914
新株予約権	225	219
非支配株主持分	29,335	28,848
純資産合計	387,414	382,263
負債純資産合計	1,053,016	936,553

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
収益	172,378	195,636
売上原価	94,137	111,215
売上総利益	78,240	84,420
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	31,176	33,763
退職給付費用	1,345	1,482
賞与引当金繰入額	6,289	6,346
役員退職慰労引当金繰入額	33	36
のれん償却額	1,763	1,828
貸倒引当金繰入額	△35	△87
その他	25,579	29,591
販売費及び一般管理費合計	66,152	72,961
営業利益	12,087	11,458
営業外収益		
受取利息	55	107
受取配当金	946	1,117
為替差益	-	906
投資事業組合運用益	250	470
その他	352	348
営業外収益合計	1,605	2,949
営業外費用		
支払利息	120	119
為替差損	21	-
持分法による投資損失	124	249
その他	175	168
営業外費用合計	441	537
経常利益	13,251	13,870
特別利益		
投資有価証券売却益	158	-
事業整理損失引当金戻入額	67	-
権利譲渡収入	-	350
その他	54	16
特別利益合計	280	366
特別損失		
投資有価証券評価損	45	115
特別退職金	27	285
その他	35	260
特別損失合計	108	661
税金等調整前四半期純利益	13,423	13,574
法人税、住民税及び事業税	2,621	2,061
法人税等調整額	3,369	5,594
法人税等合計	5,991	7,656
四半期純利益	7,431	5,918
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,193	1,336
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,238	4,582



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	7,431	5,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,488	△9,068
繰延ヘッジ損益	-	△109
為替換算調整勘定	3,642	4,048
退職給付に係る調整額	△3	57
持分法適用会社に対する持分相当額	74	57
その他の包括利益合計	9,201	△5,015
四半期包括利益	16,633	903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,939	1,818
非支配株主に係る四半期包括利益	1,694	△915

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,423	13,574
減価償却費	2,073	2,485
のれん償却額	1,763	1,828
事業整理損失引当金戻入額	△67	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21,050	△44,676
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△502	△931
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	819	△213
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△140	△41
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△129	△123
受取利息及び受取配当金	△1,001	△1,224
支払利息	120	119
為替差損益 (△は益)	△17	△457
持分法による投資損益 (△は益)	124	249
投資有価証券売却損益 (△は益)	△158	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	△0	86
投資有価証券評価損益 (△は益)	45	115
特別退職金	27	285
売上債権の増減額 (△は増加)	67,486	142,573
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△11,667	△11,599
仕入債務の増減額 (△は減少)	△53,200	△49,977
預り金の増減額 (△は減少)	24,154	12,401
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2	30
その他	1,122	△1,011
小計	23,224	63,494
利息及び配当金の受取額	1,269	1,110
利息の支払額	△86	△94
特別退職金の支払額	△4,402	△1,533
法人税等の支払額	△14,772	△37,080
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,232	25,895

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△9	△72
定期預金の払戻による収入	524	373
有形固定資産の取得による支出	△472	△1,008
無形固定資産の取得による支出	△928	△1,261
投資有価証券の取得による支出	△1,294	△1,468
投資有価証券の売却による収入	790	0
出資金の払込による支出	△165	△2,386
連結の範囲の変更を伴う子会社株式及び出資金の取得による支出	△380	△351
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	3,113
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△227
子会社株式及び出資金の取得による支出	△212	-
敷金の差入による支出	△359	△418
敷金の回収による収入	143	162
長期貸付けによる支出	△24	△41
長期貸付金の回収による収入	22	16
金銭債権信託受益権の増減額 (△は増加)	△434	△81
その他	△13	547
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,815</b>	<b>△3,104</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	10,638	△5,506
長期借入れによる収入	1,723	944
長期借入金の返済による支出	△2,154	△2,313
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△147	△226
子会社の自己株式の取得による支出	△398	△269
子会社の自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	-	△731
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△157	△263
配当金の支払額	△5,094	△5,790
非支配株主への配当金の支払額	△463	△258
非支配株主からの払込みによる収入	84	-
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>4,031</b>	<b>△14,415</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,317	2,670
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>7,765</b>	<b>11,047</b>
現金及び現金同等物の期首残高	176,042	180,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	183,807	191,744

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日)  
(以下、時価算定会計基準適用指針)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の連結子会社は、新聞、雑誌、ラジオ、テレビ、デジタルメディア等各種媒体における広告業務の取り扱い、及び広告表現に関する企画、制作並びにマーケティング、PR等のサービスの提供を主たる業務としており、事業を集約し単一セグメントとしているため記載を省略しております。

&lt;参考情報&gt;

I. 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)における地域別の業績及び海外収益の状況は、以下のとおりです。

i. 地域別の業績

(単位:百万円)

	日本	海外	計	消去 又は全社	連結
収益					
(1) 外部顧客からの収益	132,671	39,706	172,378	—	172,378
(2) セグメント間の内部 収益又は振替高	901	594	1,496	(1,496)	—
計	133,572	40,301	173,874	(1,496)	172,378
売上総利益	61,513	17,385	78,898	(658)	78,240
営業利益又は営業損失(△)	16,711	△895	15,816	(3,728)	12,087

ii. 海外収益

(1) 海外収益(百万円)	46,456
(2) 連結収益(百万円)	172,378
(3) 連結収益に占める海外収益の割合(%)	27.0

(注) 「海外」に区分される主な国又は地域

アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、フランス、オランダ、トルコ、ロシア、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン、インド、オーストラリア

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)における地域別の業績及び海外収益の状況は、以下のとおりです。

i. 地域別の業績

(単位：百万円)

	日本	海外	計	消去 又は全社	連結
収益					
(1) 外部顧客からの収益	146,916	48,719	195,636	—	195,636
(2) セグメント間の内部 収益又は振替高	1,338	779	2,117	(2,117)	—
計	148,254	49,499	197,754	(2,117)	195,636
売上総利益	64,518	21,244	85,762	(1,342)	84,420
営業利益又は営業損失(△)	17,660	△897	16,762	(5,304)	11,458

ii. 海外収益

(1) 海外収益(百万円)	52,074
(2) 連結収益(百万円)	195,636
(3) 連結収益に占める海外収益の割合(%)	26.6

(注) 「海外」に区分される主な国又は地域

アメリカ、カナダ、ドイツ、イギリス、フランス、オランダ、トルコ、ロシア、中国、台湾、韓国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、フィリピン、インド、オーストラリア

(重要な後発事象)

該当事項はありません。